



平成 27 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 経営企画本部長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

当社子会社のがん治療用樹状細胞増幅技術に関する 欧州における特許査定取得のお知らせ

当社子会社の株式会社 ID ファーマ(以下、「ID ファーマ」という)は、がん治療用樹状細胞(※1)増幅技術(以下、「本技術」という)について欧州において特許査定を取得しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特許の内容

今回特許査定を受けた本技術の名称・内容・対象国は次のとおりです。

| | |
|---------|--|
| 名称 | 樹状細胞の製造方法 |
| 国際出願番号 | PCT/JP2008/058719 |
| 内容 | 複数のサイトカインの存在下で DC 前駆細胞を培養することにより、少ない DC 前駆細胞から大量の DC を製造する技術を提供する。 |
| 査定取得国 | 欧州 |
| 特許取得済地域 | 日本・米国・中国 等 |

2. 本技術の概要

本技術は、がん樹状細胞ワクチン療法に用いられる技術です。がん樹状細胞ワクチン療法は、患者様自身の樹状細胞を使用するがん免疫療法(※2)であり、患者様の末梢血から分離した単球を樹状細胞に分化させ、患者様のがん細胞から抽出・合成したがん抗原を取り込ませた上で患者様の体内に戻してがんを治す治療法のことです。

樹状細胞は血流に乗って全身を回りながらがん細胞などの異物を発見すると異物が提示する非自己分子により活性化され、患者様の免疫機能を亢進する免疫の司令塔の役目を持っています。がん免疫療法において樹状細胞は中心的な役割を果たしている細胞の一つですが、従来の技術では、樹状細胞を増殖させることが難しい細胞であり、患者様によってはがん樹状細胞ワクチン療法に使うための十分な数の樹状細胞を確保することが困難な場合もあります。

ID ファーマが開発した本技術は、骨髄や血液から分離した樹状細胞の前駆細胞をこれまでにない高効率で増殖させることができる画期的技術であり、増殖した前駆細胞から免疫活性のある活性化樹状細胞を大量に製造することを可能にすることで、現状の課題を克服できるものです。がん樹状細胞ワクチン療法では、治療に用いる樹状細胞の数を多くすることで治癒効果が向上されることが明らかになっています。日本・米国・中国等に続き、欧州においても本技術の特許査定に至ったことで、同療法のさらなる普及が期待されます。

3. 業績に与える影響

本特許査定取得による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

※1. 樹状細胞

樹状細胞(DC:dendritic cell)は血球の一種で、血流に乗って全身を回りながらがん細胞などの異常な細胞を発見するとそれを飲み込んで除去するとともに、それを攻撃するためのリンパ球を活性化する機能を持っています。

※2. がん免疫療法

がんの三大基本療法(化学療法、放射線療法および外科手術)を補完する療法として有力視されているもので、患者自身の樹状細胞などの免疫担当細胞を使用して、患者様の免疫機能を向上させ、がん細胞を除去または増殖を抑えることを目的としている治療法です。本療法により、がん細胞の増殖抑制に加え、進行がんにおける基本療法後の再発、転移の予防に対しても効果があることが期待されます。

以 上